

〔別 紙〕

様式 1

事業報告書

(自 令和3年5月1日 至 令和4年4月30日)

1 医療法人の概要

(1) 名 称 医療法人 聖心会

① ☐ 財団 ☒ 社団 (☐ 出資持分なし ☒ 出資持分あり)② ☐ 社会医療法人 ☐ 特定医療法人 ☐ 出資額限度法人
☒ その他③ ☐ 基金制度採用 ☒ 基金制度不採用

注) ①から③のそれぞれの項目 (③は社団のみ。) について、該当する欄の□を塗りつぶすこと。(会計年度内に変更があった場合は変更後。)

(2) 事務所の所在地 愛知県豊川市諏訪4丁目176番地

注) 複数の事務所を有する場合は、主たる事務所と従たる事務所を記載すること。

(3) 設立認可年月日 昭和 平成 令和 5年5月10日(4) 設立登記年月日 昭和 平成 令和 5年6月7日

(5) 役員及び評議員

	氏 名	備 考
理 事 長	山本 洋平	医療法人 聖心会 山本歯科クリニック管理者
理 事	山本 順一	
同	山本 典子	
同	山本 若菜	
監事	後藤 文良	

注) 1. 「社会医療法人、特定医療法人及び医療法第42条の3第1項の認定を受けた医療法人」以外の医療法人は、記載しなくても差し支えないこと。

2. 理事の備考欄に、当該医療法人の開設する病院、診療所又は介護老人保健施設 (医療法第42条の指定管理者として管理する病院等を含む。) の管理者であることを記載すること。(医療法第47条第1項参照)

3. 評議員の備考欄に、評議員の選任理由を記載すること。(医療法第49条の4参照)

2 事業の概要

- (1) 本来業務（開設する病院、診療所又は介護老人保健施設（医療法第42条の指定管理者として管理する病院等を含む。）の業務）

種 類	施設の名称	開 設 場 所	許可病床数
診療所	山本歯科クリニック	愛知県豊川市諏訪4丁目176番地	一般病床 0床

- 注) 1. 地方自治法第244条の2第3項に規定する指定管理者として管理する施設については、その旨を施設の名称の下に【 】書で記載すること。
2. 療養病床に介護保険適用病床がある場合は、医療保険適用病床と介護保険適用病床のそれぞれについて内訳を[]書で記載すること。
3. 介護老人保健施設の許可病床数の欄は、入所定員及び通所定員を記載すること。

- (2) 附帯業務（医療法人が行う医療法第42条各号に掲げる業務）

種類又は事業名	実 施 場 所	備 考

- 注) 地方公共団体から委託を受けて管理する施設については、その旨を施設の名称の下に【 】書で記載すること。

- (3) 収益業務（社会医療法人又は医療法第42条の3第1項の認定を受けた医療法人が行うことができる業務）

種 類	実 施 場 所	備 考
特になし		

- (4) 当該会計年度内に社員総会又は評議員会で議決又は同意した事項

令和3年6月22日 第28期決算報告書承認
 令和4年4月23日 第30期事業計画及び予算承認

注) (5)、(6)については、医療機関債を発行又は購入する医療法人が記載し、(7)以下については、病院又は介護老人保健施設を開設する医療法人が記載し、診療所のみを開設する医療法人は記載しなくても差し支えないこと。

- (5) 当該会計年度内に発行した医療機関債

注) 医療機関債の発行総額、申込単位、申込期間、利率、払込期日、資金使途、償還の方法及び期限を記載すること。なお、発行要項の写しの添付に代えても差し支えない。

医療機関債を医療法人が引き受けた場合には、当該医療法人名を全て明記すること。

- (6) 当該会計年度内に購入した医療機関債

注) 1. 医療機関債を購入する医療法人は、医療機関債の発行により資産の取得が行われる医療機関と同一の二次医療圏内に自らの医療機関を有しており、これらの医療機関が地域における医療機能の分化・連携に資する医療連携を行っており、かつ、当該医療連携を継続することが自らの医療機関の機能を維持・向上するために必要である理由を記載すること。

2. 購入した医療機関債名、発行元医療法人名、購入総額及び償還期間を記載すること。

なお、契約書又は債権証書の写しの添付に代えても差し支えない。

- (7) 当該会計年度内に開設（許可を含む）した主要な施設

- (8) 当該会計年度内に他の法律、通知等において指定された内容

- (9) その他

注) 当該会計年度内に行われた工事、医療機器の購入又はリース契約、診療科の新設又は廃止等を記載する。（任意）

様式第一号

法人名 医療法人 聖心会
所在地 愛知県豊川市諏訪4丁目176番地

※医療法人整理番号 00873

貸 借 対 照 表
(令和 4年 4月30日現在)

(単位：千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
I 流 動 資 産	184,848	I 流 動 負 債	27,330
現金及び預金	146,999	支払手形	0
事業未収金	34,314	買掛金	0
有価証券	2,430	短期借入金	0
たな卸資産	531	未払金	22,687
仮払金	779	未払費用	0
貸倒引当金	△ 205	未払法人税等	4,186
その他の流動資産	0	未払消費税等	0
II 固 定 資 産	64,323	前受金	0
1 有 形 固 定 資 産	32,200	預り金	457
建物	19,274	前受収益	0
建物附属設備	1,124	その他引当金	0
医療用器械備品	3,808	その他の流動負債	0
車両及び船舶	6,221	II 固 定 負 債	1,980
その他の器械備品	1,773	医療機関債	0
土地	0	長期借入金	0
建設仮勘定	0	繰延税金負債	0
その他の有形固定資産	0	その他引当金	0
2 無 形 固 定 資 産	177	その他の固定負債	1,980
借地権	0	負債合計	29,810
電話加入権	73	純資産の部	
その他の無形固定資産	104	科 目	金 額
3 そ の 他 の 資 産	31,946	I 出 資 金	20,000
出資金	60	II 積 立 金	0
長期貸付金	0	代替基金	0
保有医療機関債	0	積立金	0
その他長期貸付金	0	繰越利益積立金	0
保険積立金	31,370	III 評価・換算差額等	199,861
保証金	516	当期末処分利益	0
繰延税金資産	0	繰延ヘッジ損益	0
その他の固定資産	0	純資産合計	219,861
資産合計	249,171	負債・純資産合計	249,171

- (注) 1. 表中の科目について、不要な科目は削除しても差し支えないこと。また、別に表示することが適当であると認められるものについては、当該資産、負債及び純資産を示す名称を付した科目をもって、別に掲記することを妨げないこと。
2. 社会医療法人及び特定医療法人については、純資産の部の基金の科目を削除すること。
3. 経過措置医療法人は、純資産の部の基金の科目の代わりに出資金とするとともに、代替基金の科目を削除すること。

様式第二号

法人名 医療法人 聖心会

※医療法人整理番号 00873

所在地 愛知県豊川市諏訪4丁目176

損 益 計 算 書

(自 令和 3年 5月 1日 至 令和 4年 4月 30日)

(単位：千円)

科 目	金 額	
I 事業損益		
A 本来業務事業損益		
1 事業収益		254,960
2 事業費用		226,386
本来業務事業利益		28,574
B 附帯業務事業損益		
1 事業収益		0
2 事業費用		0
附帯業務事業利益		0
C 収益業務事業損益		
1 事業収益		0
2 事業費用		0
収益業務事業利益		0
事業利益		28,574
II 事業外収益		
受取利息	1	
その他の事業外収益	2,127	2,128
III 事業外費用		
支払利息	0	
その他の事業外費用	206	206
経常利益		30,496
IV 特別利益		
固定資産売却益	431	
その他の特別利益	184	615
V 特別損失		
固定資産売却損	0	
その他の特別損失	0	0
税引前当期純利益		31,111
法人税・住民税及び事業税	7,621	
法人税等調整額	0	7,621
当期純利益		23,490

(注) 1. 利益がマイナスとなる場合には、「利益」を「損失」と表示すること。

2. 表中の科目について、不要な科目は削除しても差し支えないこと。また、別に表示することが適当であると認められるものについては、当該事業損益、事業外収益、事業外費用、特別利益及び特別損失を示す名称を付した科目をもって、別に掲記することを妨げないこと。

様式第三号

法人名 医療法人 聖心会
所在地 愛知県豊川市諏訪4丁目176

※医療法人整理番号 00873

財 産 目 録
(令和 4 年 4 月 30 日現在)

1. 資 産 額 249,171 千円
2. 負 債 額 29,310 千円
3. 純 資 産 額 219,861 千円

(内 訳)		(単位：千円)
区 分	金 額	
A 流 動 資 産	184,848	
B 固 定 資 産	64,323	
C 資 産 合 計 (A + B)	249,171	
D 負 債 合 計	29,310	
E 純 資 産 (C - D)	219,861	

(注) 財産目録の価額は、貸借対照表の価額と一致すること。

土地及び建物について、該当する欄の□を塗りつぶすこと。

土 地

(☐ 法人所有 ☒ 賃借 ☐ 部分的に法人所有(部分的に賃借))

建 物

(☒ 法人所有 ☒ 賃借 ☐ 部分的に法人所有(部分的に賃借))

様式 6

監 事 監 査 報 告 書

医療法人 聖心会

理事長 山本 洋平 殿

私（注1）は、医療法人聖心会の令和3年会計年度（令和3年5月1日から令和4年4月30日まで）の業務及び財産の状況等について監査を行いました。その結果につき、以下のとおり報告いたします。

監査の方法の概要

私たちは、理事会その他重要な会議に出席するほか、理事等からその職務の執行状況を聴取し、重要な決裁書類等を閲覧し、本部及び主要な施設において業務及び財産の状況を調査し、事業報告を求めました。また、事業報告書並びに会計帳簿等の調査を行い、計算書類、すなわち財産目録、貸借対照表及び損益計算書（注2）の監査を実施しました。

記

監査結果

- (1) 事業報告書は、法令及び定款（寄附行為）に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- (2) 会計帳簿は、記載すべき事項を正しく記載し、上記の計算書類の記載と合致しているものと認めます。
- (3) 計算書類は、法令及び定款（寄附行為）に従い、損益及び財産の状況を正しく示しているものと認めます。
- (4) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款（寄附行為）に違反する重大な事実は認められません。

令和4年6月23日

医療法人 聖心会

監事 後藤 文良

（注1）監査人が複数の場合には、「私たち」とする。

（注2）関係事業者との取引がある医療法人については、「財産目録、貸借対照表、損益計算書及び関係事業者との取引の状況に関する報告書」とし、社会医療法人債を発行する医療法人については、「財産目録、貸借対照表、損益計算書、純資産変動計算書、キャッシュ・フロー計算書及び附属明細表」とする。

重要な会計方針等の記載及び貸借対照表等に関する注記

1 継続事業の前提に関する事項

2 資産の評価基準及び評価方法

ア. 有価証券の評価基準及び評価方法。

出資金については原価法により取得原価額による評価。

イ. 棚卸資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産については原価法により最終仕入原価法により評価。

3 固定資産の減価償却の方法

ア. 定率法を採用。

ただし、平成 28 年 4 月 1 日以後に取得した建物付属設備及び構築物については定額法を採用。

4 引当金の計上基準

ア. 貸倒引当金

債権の貸倒損失に備えるため、法人税法に規定する法定繰入率により計算した回収不能見込額を計上しております。

5 消費税及び地方消費税の会計処理の方法

ア. 消費税等の会計処理は税込方式を採用しております。

6 その他貸借対照表等作成のための基本となる重要な事項

7 重要な会計方針を変更した旨等

8 資産及び負債のうち収益業務に関する事項・収益業務からの繰入金の状況に関する事項

9 担保に供されている資産に関する事項

10 法第51条第1項に規定する関係事業者に関する事項

(1) 法人である関係事業者

種類	名称	所在地	総資産額 (千円)	事業 内容	関係事業者との関係	取引の内容	取引金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)

取引条件及び取引条件の決定方針等

(2) 個人である関係事業者

種類	氏名	職業	関係事業者との関係	取引の内容	取引金額(千円)	科目	期末残高 (千円)

取引条件及び取引条件の決定方針等

11 重要な偶発債務に関する事項

12 重要な後発事象に関する事項

13 その他医療法人の財政状態又は損益の状況を明らかにするために必要な事項

(該当する事項がない項目については、項目の掲記を省略することができる。)